

急性 単純性（漿液性）/化膿性 歯髓炎/根尖性歯周炎のまとめ 確認用

	歯髓炎	根尖性歯周炎
単 純 性	<p>急性単純性歯髓炎</p> <p>症状：① 性の痛み ② な自発痛</p> <p>誘発：③、甘味、酸味、食片圧入で持続性誘発痛</p> <p>検査：歯髓診の閾値低下 歯髓診+ 打診痛-</p>	<p>急性単純性根尖性歯周炎</p> <p>症状：自発痛は比較的軽度 ⑭</p> <p>誘発：咬合痛、根尖部圧痛</p> <p>検査：打診痛 ⑮ 根尖部透過像 ⑯ 歯髓診-</p>
化 膿 性	<p>急性化膿性歯髓炎</p> <p>症状：④ 性、⑤ 性、穿刺性、 ⑥ 性の自発痛 激痛のため ⑦ (耳部、側頭部、上顎洞) 痛みの定位が ⑧</p> <p>誘発：血行が良くなる時に増悪 (夜間、入浴時) ⑨ 刺激で持続時間の長い誘発痛 → ⑩ 刺激で緩和</p> <p>検査：末期では歯髓診の閾値が ⑪ (歯髓診+)</p> <p>※ 全部性では挺出感 ⑫、打診痛 ⑬</p>	<p>急性化膿性根尖性歯周炎</p> <p>症状：初期は鈍い自発痛 ⑰ (歯根膜期～) ⑱ 性の自発痛 (骨内期～) ⑲ (骨内期/骨膜下期～) ⑳、㉑、 ㉒ (骨膜下期/粘膜下期～) ㉓、顔面膿瘍、㉔ (粘膜下期) 根尖相当歯肉の発赤、腫脹</p> <p>誘発：㉕ 刺激で増強 (骨内期) → ㉖ 刺激で緩和</p> <p>検査：打診痛 ㉗ 根尖部透過像 ㉘ ㉙ を触知 (粘膜下期) 歯髓診- 患歯の特定が容易</p>